

根室市町会女性部連絡会会報

発行年月日

令和6年3月1日

No. **43**

発行者

根室市町会女性部連絡会



「年明けて地域の絆を思う」

根室市町会女性部連絡会  
副会長 齋藤 信子

二〇二四年の干支は、ご存じのとおり甲辰（きのえたつ）の年ですが、辰年は新しい事を始めて成功する。「今まで準備していた事が形になる」といった縁起の良い年になると書かれておりました。

また、龍と言えば「登竜門」という言葉がありますが、「竜門」という流れの急な川を上った鯉は龍になると言われる伝説からきている言葉だそうです。鯉が竜門を登りきって龍になったように、色々な困難を乗り越えていきたいですね。

二〇二四年元日に発生した、能登半島地震の被災者が語っていた「地域の皆がいる場所へ二次避難をしたい」と言っていたのが印象的でした。家族・友達はもちろんですが、地域のコミュニティの存在、人と人とのつながりがどれだけ安心で頼りになり、生きる力を与えてくれる存在なんだということが分かり、改めて町内会・自治会の必要性を再確認しました。

コロナ禍の影を脱して迎えた二〇二四年、以前のよう

に町内会活動もしやすい世の中になりました。新たな成功を目指して、何かにチャレンジするには最適な甲辰だそうです。

さあ、何を始めようか、今からでも挑戦してみてはいかがでしょう。

根室市民憲章

- 一、郷土を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一、健康で働き、豊かなまちをつくりまします。
- 一、教養をたかめ、文化のまちをつくりまします。
- 一、きまりを守り、住みよいまちをつくりまします。
- 一、生活を楽しみ、明るいまちをつくりまします。
- 一、北方領土の復帰をはかり、平和なまちをつくりまします。



## 活動報告

### 令和五年度根室市町会 女性部連絡会定期総会

令和五年五月二十四日、本年度の定期総会を開催し、約三十名の方に参加をいただきました。  
令和二年度から、新型コロナウイルス



感染症の影響により昨年度まで書面開催が続いておりましたが、四年振りに開催することができました。  
提出議件として、令和四年度活動報告並びに令和五年度活動計画案を協議いただき、全て承認可決されました。  
総会終了後の研修会では、令和六年に完成予定の根室市役所新庁舎について、根室市総務部庁舎整備推進課の富樫主査に講演いただきました。

## 活動報告

### 令和五年度根室管内町内 会連絡協議会総会並びに 創立四十周年記念式典

令和五年度の根室管内町内会連絡協議会総会が六月二十八日、中標津町トーヨーグランドホテルで開催され、根室市からは七名が参加しました。

提出議件は全て承認可決され、来年度の総会は、根室市で開催されることが決定しました。

総会終了後には、同会場において、根室管内町内会連絡協議会創立四十周年記念式典が行われ、来賓を含め約六十名の方が出席されました。

式典では、創立四十周年記念功労者として、七名の方々に長谷川会長より表彰状が贈られました。

根室管内町内会連絡協議会は、北海道総合振興局・振興局管内を単位とした町内会連絡協議会として、昭和五十八年に設立され、道内八組織の中で最も歴史のある住民自治組織です。

# 活動報告

## 令和五年度 根室市町会女性部研修会

令和五年十一月十四日、町会女性部の研修会を根室市総合文化会館で開催しました。

四年振りの開催となりましたが、各町会の婦人部・女性部より約二十名の方が参加をされ、講師には、根室市総務部危機管理課の熊谷主査をお招きし、「最新の防災」についてお話をいただきました。

災害・防災・減災についての講話や、内閣府作成の日本海溝・千島海溝沿い巨大地震における津波想定動画鑑賞、段ボールベッドの作成体験も行いました。

また、市では、本年度より一般市民向けに、家具転倒防止器具の購入や事業者による取り付け費用を対象に助成金の交付を行っており、詳しいお問い合わせは、根室市役所総務部危機管理課までお願いいたします。



地震に備えて

## はじめよう 家具の転倒防止対策

令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、石川県をはじめ多くの地域に甚大な被害をもたらしました。

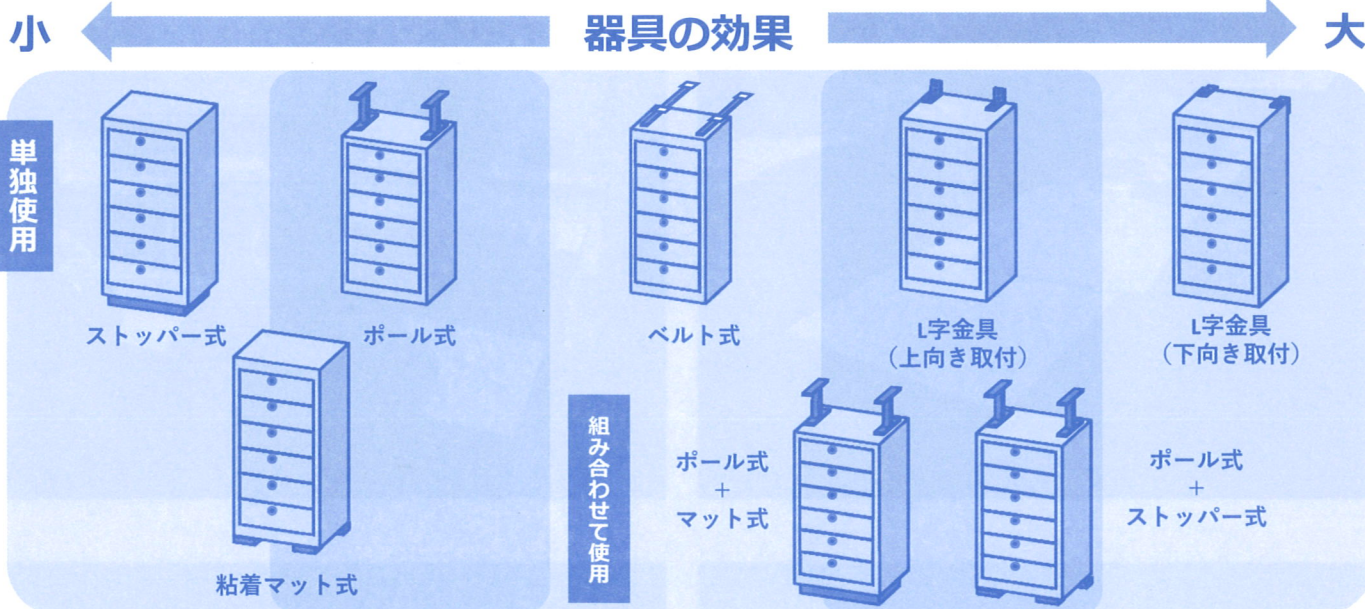
地震による家具類の転倒は「ケガ」「火災」「避難障害」等を引き起こす原因になります。「いつ起きてもおかしくない」地震に備えて、家具の転倒防止対策を進めましょう。

## 家具転倒防止対策のポイント

- (1) 整理整頓・収納場所を変更し、家具を減らす
- (2) 家具の配置を見直す
- (3) 家具転倒防止器具を使って家具を倒れにくくする

ホームセンター等で様々な家具の転倒を防止する器具が販売されています。

## 家具転倒防止グッズの効果



## 家具転倒防止器具の購入・取り付けに関する助成を行っています！

市では家具等転倒防止器具を購入・取り付けを行う世帯に対し、購入費用と器具の取り付けを業者に依頼する場合はその取り付け費用に対し、1世帯につき10,000円を上限として助成金を交付しています。(市内店舗・市内業者に限る。)

申請にあたっては、交付申請書と領収書やレシートなどの支払い証明書類の写し、取り付け前後の写真、振込先口座が確認できる通帳の写しを添付してください。

申請書様式については、ホームページからダウンロード、もしくは市役所総務部危機管理課でお渡しできますので、ぜひご利用ください。

詳しくは、総務部危機管理課危機管理担当までお問い合わせください。



## 道町連共済のご案内 ～町内会活動中のケガに備えていますか？～



「道町連共済」は、町内会・自治会活動中の事故に対して見舞金が支払われる会員相互の助け合い事業です。町会を通じて加入することができます。詳しくは根室市町会連合会事務局までお問い合わせください。

**【共済会費】** 一人200円ですが、根室市の町会に加入している方は150円で加入できます。(年度途中の加入も同額)

**【共済期間】** 4月1日から翌年3月末までの1年間。(年度途中の加入も3月末まで)

### 【見舞金の内容】

見舞金の種類	支給額	条 件
傷害見舞金	治療のために被害者が実際に負担した医療費	支給上限を10万円とする。 医師の指示による薬代・補装具代も含む。
死亡見舞金B	10万円	死亡見舞金Aに該当しない、活動中の死亡に対して支給。発生後24時間以内に死亡の場合。
破損事故見舞金	1万円(新設)	共済加入者の町内会活動中の事故が原因で、町内会として実費弁償が生じた事故。但し、実費弁償額が1万円未満の場合は除く。
医師等の診断書 (治ゆ証明書) 文書料	一事故5,000円を限度に実費支給	通院した日が5日以内の事故は、診断書(治ゆ証明書)が不要のため除く。
死亡見舞金A	200万円	活動中における外因・外傷の事故による死亡に対して支給。事故発生後180日以内に死亡した場合。
後遺障害見舞金	最高200万円	後遺障害の程度により支給。 事故発生後180日以内に生じた場合。

### 【対象となる活動】

町内会の事業計画に基づいた活動中に生じた事故が対象。また、事業計画になくても町内会の運営上慣例となっている事業も対象。

#### ◎具体的な事業・行事

- ・町内会が主催するレクリエーションや盆踊り等の親睦活動
- ・総会、役員会等の会議や町内会の研修会等
- ・町内の清掃や除排雪、資源回収等

#### ◎運営上慣例となる事業

- ・広報誌や回覧板の配布、会費の徴収等

#### ◎活動の往復途中について

活動を行うために、自宅を出てから活動を終えて帰宅するまでが対象。私的な用事で移動経路を外れた場合は対象外。



## 【令和5年度 町会女性部連絡会活動報告】

令和5年4月4日	根室市町会連合会第1回正副会長並びに常任理事会、第1回理事会出席
4月5日	根室市町会女性部連絡会第1回正副会長会議開催
4月11日	令和5年度根室市町会連合会定期総会出席
4月17日	根室市町会女性部連絡会第1回幹事会開催
4月24日	令和5年度根室市幼少年女性防火委員会総会出席
5月24日	令和5年度根室市町会女性部連絡会定期総会開催
6月14日	第73回「社会を明るくする運動」根室市推進委員会
6月23日	令和5年度（第1回）根室市子ども・子育て会議（書面開催）
6月28日	令和5年度根室管内町内会連絡協議会総会出席
〃	根室管内町内会連絡協議会創立40周年記念式典出席
7月3日	第73回「社会を明るくする運動」街頭啓発参加
7月19日	北海道横断自動車道根室線における道路計画に関するヒアリング調査
9月5日	根室市町会女性部連絡会第2回正副会長会議開催
10月12日	根室市町会女性部連絡会第2回幹事会（書面開催）
10月16日	根室市町会女性部連絡会第3回正副会長会議開催
11月14日	令和5年度根室市町会女性部研修会開催
12月6日	根室市町会連合会第2回理事会出席
令和6年1月10日	第1回せせらぎ編集委員会開催
2月7日	第2回せせらぎ編集委員会開催

令和6年3月1日現在

### 編集後記

このたび能登半島地震において、被害を受けられた地域の方々、そのご家族に心からお見舞い申し上げます。そして一日でも早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、市内では昨年からの金刀比羅神社例大祭を始め、様々な行事・イベントが再開されるようになりました。皆が自由に集い、行動できるすばらしさを感じております。

まだ、人混みの中ではマスクが必要な時もありますが、これからも手洗いうがいに留意し、普通に生活ができますように願っています。

編集委員 遠藤優子・高寺笑子・能村英子・齋藤信子